

就労継続支援 A 型 基本報酬に関する届出書
及び自己評価結果等の公表に係る届出書

1 事業所情報

事業所番号	4017701915									
事業所名称	a z u l 志井									
事業の種別	●	就労継続支援 A 型	指定年月日	令和 2	年	7	月	1	日	

2 公表状況

公表の有無	●	有		無	公表年月日	令和 7	年	4	月	15	日
公表方法 (該当するものに●)	●	ホームページに掲載 (アドレスを記載してください)									
		URL	http://yorocovi.biz								
		その他	(具体的な方法を記載してください)								
		具体的な方法									

3 基本報酬算定区分

(Ⅰ) 労働時間	40	点
(Ⅱ) 生産活動	40	点
(Ⅲ) 多様な働き方	15	点
(Ⅳ) 支援力向上のための取組	15	点
(Ⅴ) 地域連携活動	10	点
(Ⅵ) 経営改善計画	0	点
(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上	10	点

合計

130

点

／ 200 点

備考 ・ パソコン等の不具合等で、やむを得ず、一時的にインターネット以外の方法により公表している場合は、会報等を添付した上で、会報等の配布先、公表先を記載の上、現に公表されている箇所の写真を添付し提出してください。また、早急にインターネット上での公表が行われなかった場合、減算となる可能性があります。

- ・ 自己評価結果等の公表にあたっては、別添 4 2 - 1 から 4 2 - 4 までの各様式を使用してください。
- ・ 地域貢献活動の報告書の公表については、別添 4 2 - 3 の様式を使用してください。
- ・ 利用者の知識・能力向上に係る実施状況の報告書については別添 4 2 - 4 を使用してください。

就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（全体）

※ 緑色のセルのみ入力してください

事業所名	a z u i 志井
住 所	福岡県北九州市小倉南区徳力４－２１－９
電話番号	093-383-9897

事業所番号	4017701915
管理者名	松原洋一郎
対象年度	令和6年度

（Ⅰ）労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		40
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

（Ⅱ）生産活動

①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		40
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤－10点 ⑥－20点

（Ⅲ）多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計（注1）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数

（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅳ）支援力向上（※）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している	○	
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数

（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅴ）地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10
--	---	----

1事例以上ある場合：10点

（Ⅵ）経営改善計画

経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0
---	---	---

期限内に提出していない場合：-50点

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上

前年度において、就労継続支援Ａ型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10
--	---	----

1事例以上ある場合：10点

項目	点数	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
労働時間									
生産活動									
多様な働き方									
支援力向上									
地域連携活動									
経営改善計画									
利用者の知識・能力向上									

合計	130	点	／ 200点
----	-----	---	--------

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (実績 I ～Ⅳ、Ⅵ)

(Ⅰ) 労働時間									
前年度 (令和6年度)									
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	33,327.25	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	7,829	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.26	時間	
(Ⅱ) 生産活動									
会計期間 (4月～3月)									
前々々年度 (令和4年度)									
生産活動収入から経費を除いた額	5,908,000	円	利用者に支払った賃金総額	35,537,847	円	収支	▲ 29,629,847	円	
前々年度 (令和5年度)									
生産活動収入から経費を除いた額	3,469,324	円	利用者に支払った賃金総額	37,435,908	円	収支	▲ 33,966,584	円	
前年度 (令和6年度)									
生産活動収入から経費を除いた額	35,640,493	円	利用者に支払った賃金総額	35,289,336	円	収支	351,157	円	
(Ⅲ) 多様な働き方									
前年度 (令和6年度) における取組 (全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載)									
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度			②利用者を職員として登用する制度			③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			
◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている ☒			◎利用者を職員として登用する制度を定めている ☒			在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている ☐			
④フレックスタイム制に係る労働条件			⑤短時間勤務に係る労働条件			⑥時差出勤制度に係る労働条件			
◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている ☐			◎短時間勤務に係る労働条件を定めている ☒			◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている ☒			
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			⑧傷病休暇等の取得に関する事項						
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている ☒			◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている ☐						
(Ⅳ) 支援力向上									
前年度 (令和6年度) における取組 (全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載)									
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会			②研修、学会等又は学会誌等において発表			③視察・実習の実施又は受け入れ			
◎研修計画を策定している ☒			◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している ☐			◎先進的事業者の視察・実習の実施している ☒			
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 ☒			※研修、学会等名			もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている ☒			
※研修名 第5回合同職員研修会			実施日 月 日			※先進的事業者名			
研修講師 伊東良輔			※学会誌等名			実施日/参加者数 月 日 人			
実施日・受講者数 11月23日 6人			掲載日 月 日			※他の事業所名 えん(就労継続支援A型)			
			発表テーマ			実施日/参加者数 2月21日 2人			
④販路拡大の商談会等への参加			⑤職員の人事評価制度			⑥ピアサポーターの配置			
◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 ☒			◎職員の人事評価制度を整備している ☒			◎ピアサポーターを配置している ☒			
※商談会等名 守成クラブ			◎当該人事評価制度を周知している ☒			◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している ☒			
主催者名 株式会社日本商工振興会			人事評価制度の制定日 平成32年8月1日			※配置期間 1月1日～3月31日			
日時 7月4日			人事評価制度の対象職員数 7名			就業時間 8:30～17:30			
内容 フォーサイトを使用したビジネスマッチング商材の確保・顧客の拡大			うち昇給・昇格を行った者 6名			職務内容 利用者との面談・就労支援			
			当該人事評価制度の周知方法 就業規則						
⑦第三者評価			⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等						
◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ☐			◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ☐						
※評価を受けた日 月 日			※認証を受けた日 月 日						
第三者評価機関			規格等の内容						
(Ⅵ) 経営改善計画									
◎指定権者である都道府県(指定都市・中核市)へ、経営改善計画書へ提出した。 ☒									
※受理日 令和7年12月15日									

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	a z u l 志井	事業所番号	4017701915
住 所	北九州市小倉南区徳力四丁目 2 1 番 9 号	管理者名	松原洋一郎
電話番号	093-383-9897	対象年度	令和6年度

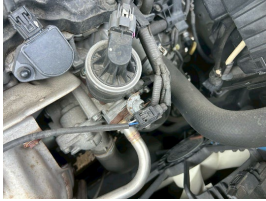
地域連携活動の概要	
<活動内容> ・活動場所 マエダ産業小倉南 北九州市小倉南区徳力1-15-2 ・実施日程 令和7年2月1日～2月28日 ・実施した生産活動・施設外就労の概要 自動車部品の組立を行う地元企業にて施設外就労 ・利用者数 9名	<活動の様子> ・成果物の写真  製品番号 A4N472-4SKO  製品番号 AIR392-2001  製品番号 W6995R/L-CP2  製品番号 J30S 全共 ・活動の様子の写真 令和7年2月12日 自動車のワイヤーハーネスの組立 
<目的> ・地域連携活動のねらい 利用者の自立を地域で支える ・地域にとってのメリット 製造コストの削減、労働力不足の解消 ・対象者にとってのメリット 地元企業への一般就労の可能性	
<成果> ・地元の企業様に喜んで頂き、利用者にも自信がついた ・地元での就職の可能性、地域共生社会の実現 ・課題点 より加工単価の高く、物量の安定した商材の仕入れ。 モデルチェンジの少ない家電製品など検討する。	

連携先の企業等の意見または評価			
・連携した結果に対する意見または評価 利用者の組立作業スキルは確実に向上しており、商材変更への対応も問題なく行われた。 モデルチェンジの少ない家電製品のワイヤーハーネスの組立を検討する。 ・今後の連携強化に向けた課題 メーカーの理解を得ることが作業単価の向上にも繋がると思われる、営業面でも協力して行っていく。 加工単価の向上が図れれば、弊社での一般就労も即日可能と思われる。物量の安定供給を図る。 安定した出勤が可能となるように、仕事以外の相談もある程度は受けるといった精神的なサポートが必要である。			
連携先企業名	合同会社マエダ産業	担当者名	春本輝政

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	a z u l 志井	事業所番号	4017701915
住 所	北九州市小倉南区徳力四丁目 2 1 番 9 号	管理者名	松原洋一郎
電話番号	093-383-9897	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> ・活動場所 ガレージ 4 5 8 北九州市小倉南区長尾4-31-7 ・実施日程 平成37年3月14日 ・実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 自動車の整備・修理技術の見学 ・利用者数 2名	<活動の様子> オイル交換・残量確認   ワイヤーハーネスの使用部位を確認   
<目的> ・利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい 組み立てたハーネスが自動車の部品として使用されている様子を知ること、社会における自身の価値や意義を認知し自己肯定感を高め、さらなる就労への意欲の創出を図る。 ・利用者にとってのメリット 自分に自信を持つことで、積極的な社会参加が可能となる。	
<成果> ・実施した結果 整備士の資格取得に興味を持った ・得られた成果 スキルアップへの意欲、自尊心の芽生えと作業に対する積極性の発揮 ・課題点 誤学習のない素直さが求められる	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

・連携した結果に対する意見または評価 利用者の好奇心や知識欲に上手くアプローチすることで、より効果的な就労支援が可能となった。向上心を持ち就労することで、複雑な作業も正確にこなす技量の習熟への時短に繋がった。 ・今後の連携強化に向けた課題 利用者の更なる能力向上の為には、その障害特性に応じた個別での幅広い対応が必要である。	
連携先企業（担当者）	ガレージ 4 5 8

利用者からの意見・評価

・参加した利用者からの意見・評価 自分たちで組み立てているワイヤーハーネスが、実際に車両で使用されている様子が確認でき、作業の意義を実感することができた。 整備士の方から国家資格についての説明があり、整備士は不足しているとも聞いたので、就労のチャンスだと思った。 体力的に楽で簡単な業務ではないので、体調管理など就労には課題もあるが、整備士の資格取得条件など参考になった。
--